「名門・駒大」を作り上げた指揮官たち

大八木 弘明

Hiroaki Oyagi
1958.7.30 生

就職後、駒澤大学夜間部に通いながら学業と陸上の練習に励み箱根駅伝第 60～62 回大会に出場。第 63 回大会は年齢制限により出場は叶わなかったが、この大学時代の成績が評価されヤクルトで実業団選手、のちにコーチとして活躍。2002 年 4 月、低迷していた母校・駒大の助監督に就任、2 年後に監督に就任した。
箱根駅伝連続出場が途絶えると予想される状況から、「平成の常勝軍団」と呼ばれるまでに立て直した名将。「男だろ！」「白バイを抜け！」など数々の名檄を残す。

藤田 敦史

Atsushi Fujita
1976.11.6 生

駒大入学時は思うように走れず悩んでいたが、大八木監督に不調の原因を貧血と見抜かれ、症状の回復と共に名選手へと成長を遂げた。4 年時には当時の箱根駅伝 4 区で驚異的な区間記録を樹立。卒業後は実業団選手として富士通で活躍し、男子マラソンにおいて日本人歴代 2 位の記録を持つ。
引退後、恩師である大八木監督の誘いを受け駒大陸上部のコーチに就任。選手たちの憧れの存在であり、また良き理解者としてチームを支えている。

駒大陸上部の立役者たち

主務	4 年	藤木 海人	長崎県　諫早高校
サブ・HP 担当	3 年	河上 遼太郎	北海道　東海大札幌高校
	3 年	吉川 大和	岡山県　倉敷高校
	3 年	谷 尚威	神奈川県　西湘高校
	1 年	渋谷 拓未	東京都　駒澤大学高校
マネジャー	4 年	平山 理美	東京都　星美学園高校
	3 年	山本 亜美	静岡県　西遠女子学園高校
	2 年	大林 莉子	北海道　旭川龍谷高校
	1 年	高原 夏野	茨城県　牛久高等学校
学連出向	3 年	二見 真理恵	東京都　駒澤大学高校
	2 年	黒井 文香	岩手県　黒沢尻北高校
	2 年	松重 美穂	山口県　柳井商工高校